

## 正方形デザインが特長の「ハピアフロア スクエア」に ブルー系の新柄を追加

～ヴィンテージテイストを演出し個性豊かな空間を提案～

大建工業株式会社(大阪市北区、社長:億田正則)は、独自の素材感や質感を特徴とし、個性的な空間を演出するスクエア(正方形)デザインの化粧シート木質床材『ハピアフロア スクエア』に、床材では当社初となる青系色の新柄(サンドブルー)を、10月21日に追加発売いたします。

『ハピアフロア スクエア』 [https://www.daiken.jp/flooring/lineup/floor\\_square.html](https://www.daiken.jp/flooring/lineup/floor_square.html)

### 【背景】

昨今、ニューノーマルな生活様式の浸透とともに、ライフスタイルが多様化する中、流行の色柄を取り入れた個性的な空間を好むお客様が増加傾向にあり、中でも素材感や質感を追求し、空間にアクセントをつけるコーディネートも近年のトレンドの一つとして人気を集めています。

今回、新柄を追加発売する『ハピアフロア スクエア』は、広幅かつ短辺方向に横溝をいれることでスクエア(正方形)デザインを表現した、他社には無い、オリジナリティ溢れる木質系シート化粧床材です。基材自体の寸法安定性に加え、高い寸法精度での溝加工を行うことで、木質系の床材でありながら、マス目状のタイルのような意匠性を実現しており、2020年8月の発売以降、市場から高い評価をいただいています。

そしてこの度、更なるラインアップ拡充の一環として、床材では当社初となる青系色の(サンドブルー)を追加発売いたします。今年6月に新色として設定した、住宅用室内ドア『hapia ソリッド調』(コバルトブルー)と組み合わせることで、モダンかつ個性豊かなコーディネートが実現できます。色柄が調和した統一感のある空間作りはもちろん、部材毎に異なる素材感と色合いの対比を演出し、多素材柄で構成したオリジナリティ溢れる空間作りも可能です。

当社は今後も、市場トレンドを先取りした幅広い製品ラインアップを展開し、様々なお客様のご要望にお応えする空間作りに貢献してまいります。

### 新製品紹介

#### 『ハピアフロア スクエア』 新柄(サンドブルー)

インテリアトレンドのブルーを質感豊かな砂目柄で表現しました。砂のひと粒ひと粒が醸し出す温かみある仕上がりが魅力で、ホワイト系やライト系の木目柄とも相性がよく、カントリー感漂う空間やシンプルなモダンスタイルを演出する際にも最適な床材です。



新柄(サンドブルー)と室内ドア hapia ソリッド調  
(コバルトブルー)との組合せイメージ

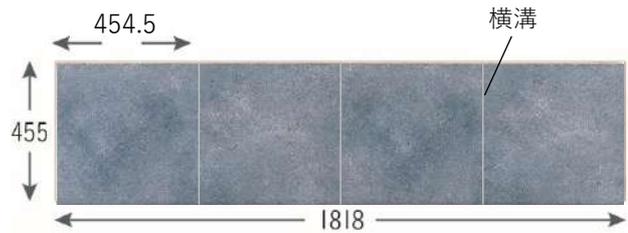


新柄(サンドブルー)の空間イメージ

## 【製品特長】

### 1. 正方形のピースが特長の大判フロア

455mm の広幅に 454.5mm ピッチの溝加工を施すことで正方形のピースを表現しており、木質系フロアでありながら、タイルを敷き詰めたような個性的で魅力ある空間に仕上げることができます。また、通常のフローリングと同様に大作業のみで施工できる上、大判サイズのため、施工手間の軽減にもつながります。



### 2. 硬質な風合いをイメージした素材感ある色柄

『ハピアフロア スクエア』の既存柄には、漆喰の味わいを楽しめる〈スタッコホワイト〉、コンクリート調の質感を表した〈コンクリートグレー〉、年月を経た鉄板の錆びた印象を持つ〈アイアンブラック〉と、独特の素材感や質感を表現した 3 柄を設定しており、今回、様々な色柄と相性が良いブルー系を加えることで、更なる提案力の強化を図ります。また、個性的で木の素材感が引き立つ色柄を設定している室内ドア『hapia ソリッド調』と連動したカラーバリエーションのため、空間全体を同系色でコーディネートできるほか、ドアや壁材には木目調や石目調の異素材柄をアレンジするなど、様々な空間作りが可能となります。

#### ◇色柄ラインアップ



新柄 〈サンドブルー〉



〈スタッコホワイト〉



〈コンクリートグレー〉



〈アイアンブラック〉

#### 【主な製品仕様等】

製品名	ハピアフロア スクエア
サイズ	12mm 厚さ、455mm×1,818mm
基材構成	E ハードベース (2.7mm 特殊 MDF+エコ合板)
表面	特殊オレフィンシート
横溝	454.5mm ピッチ、溝幅 1.2mm
価格(税抜)	27,100 円/梱、2 枚入り(1.65 m <sup>2</sup> )
発売日	2022 年 10 月 21 日
販売目標	発売初年度 1 億 3 千万円 (2022 年度)

#### 【お問い合わせ先】

大建工業株式会社 お客様センター 0120-787-505

以 上

※ここに掲載されている情報は発表時のものであり、ご覧いただいている日と情報が異なる場合があります。あらかじめご了承ください。